

2021年度ジャーナルコンサルティング 参加ジャーナル募集につきまして

2021年4月

JST 情報基盤事業部

J-STAGEは、2017年度より掲載誌の質を向上し国際発信力を強化することを目的として、学術出版を専門とするコンサルタントによるジャーナルの改善支援「ジャーナルコンサルティング」を実施してきました。本プロジェクトを通じて、ジャーナルのめざす中長期的な達成目標はジャーナル毎に様々である一方、短期的には投稿規程等のドキュメントの改善や二次利用条件の明確化等、全てのジャーナルにおいて基盤となる部分の整備が必要であることが明らかになりました。また、J-STAGEではオープンアクセスを推進しており、2020年度のジャーナルコンサルティングは、基盤整備の次のステップに係る取り組みとして、OA誌のホワイトリストとして国際的に認知されているDOAJ(Directory of Open Access Journals)への取載を全参加誌の統一目標に定め実施しました。

2021年度のジャーナルコンサルティングは、これまでの取り組みから見えてきた課題、参加ジャーナルからの声も考慮して、改善に意欲のあるジャーナルが、その改善段階に応じて多様な支援を受けられる形で実施します。つきましては、2021年度の「ジャーナルコンサルティング」参加ジャーナルを募集いたしますので、以下の募集要領を熟読のうえ、ご応募いただきますようお願い申し上げます。

目次

- ・英文誌コンサルティング募集要領…p. 2～3
- ・和文誌コンサルティング募集要領…p. 4

- お問い合わせ：「2021年度ジャーナルコンサルティング参加ジャーナル募集」に関するご質問等は以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

JST（科学技術振興機構）情報基盤事業部
J-STAGE ジャーナルコンサルティング担当
メールアドレス：jstage-gakkai@jst.go.jp

■参考情報

ジャーナルコンサルティング 2019年度実施報告（J-STAGE News No.43より）

<https://doi.org/10.34344/jstagenews.2020.43.4>

2018年度第3回J-STAGEセミナー 配付資料

(2018年度ジャーナルコンサルティングに参加した発行機関による取り組み発表)

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/News/TAB4/PastIssues/-char/ja#1903/29>

募集要領

○英文誌

■参加対象

- J-STAGE で定期的に刊行されている英文ジャーナル、もしくは J-STAGE 掲載誌発行機関によって新規創刊が検討されている英文ジャーナル
 - 会議論文・要旨集、研究報告・技術報告、解説誌・一般情報誌、その他を除く
 - アーカイブ誌（誌名変更や廃刊等で刊行を中止しているジャーナル）を除く
 - J-STAGE 以外のプラットフォームを DOI のランディング先としている資料を除く
- 既にオープンアクセス（以下、OA）（※1）が実現されている、もしくは、OA への移行を希望していること（購読誌の運営に関するコンサルティングは実施しない）
- 過去のジャーナルコンサルティング参加経験、現時点のオープンアクセスの達成状況等は不問
- 1 発行機関につき 1 誌のみの応募とさせていただきます

※1 オープンアクセス…J-STAGE では、国際的な OA の定義に基づき、以下の条件をともに満たす刊行物を「オープンアクセス誌」としています。

- ・ 公衆に開かれたインターネット上において無料で本文にアクセスできる
- ・ 二次利用の範囲や条件が CC ライセンス等により明示されている

なお、OA の実現にあたり出版コストを賄う方法については、著者が論文掲載料（APC: Article Processing Charge）を支払う、大学・研究機関等の刊行元が経費を負担する、助成団体等から出版経費の支援を受ける 等、特に問わない。

■実施概要

1. 実施期間（予定）：2021 年 5 月～2022 年 3 月
2. 実施内容：コンサルティングのフェーズは、ステップ A とステップ B に分かれる。

ステップ A-ジャーナル診断

参加ジャーナルは質問表に回答する。コンサルタントが回答内容等に基づき現状を診断し、ジャーナルが抱えている課題等を整理する。

なお、ジャーナルコンサルティングに参加経験のあるジャーナルは、前回の診断結果からの改善状況につき診断を受ける。

ステップ B-8 つのコースから選択する（コースの詳細は[こちら](#)を参照ください）。ステップ A の診断結果により、ステップ B で選択可能なコースが決定し、ジャーナルはその中から 1 つのコースを決定する。コンサルタントの助言に基づき、ジャーナルは年度内での改善達成を目標に計画的に改善活動を進める。※コースによっては、テーマの主要な問題点等を理解するため、コンサルタントによるセミナーの受講が求められる（Zoom 等のウェビナーを想定）

3. 実施機関：JST が委託するコンサルタント（コンサルティング会社）
4. 支援方法：主にメールによるヒアリング・情報提供。Web ミーティング・電話によるコミュニケーションも可
5. 言語　　：英語
6. JST への報告（実施成果の公表のため、機関名、資料名を匿名化および要約した形で一般公開させていただく場合があります）
 - ：定期的な進捗報告
 - 中間報告書・最終報告書の提出
 - コンサルティング参加後の改善効果に関する報告（参加後 5 年間、年 1 回を想定）
7. 応募　　：参加を希望される場合はこちらよりお申し込みください。
<https://form.jst.go.jp/enquetes/j-stage69>
8. 応募締切：2021 年 5 月 6 日（木）
9. 注意事項：
 - ・参加希望ジャーナル多数の場合は、ご参加いただけない可能性がございますこと、予めご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。
 - ・また、ステップ A の診断結果によってはステップ B に進むことができない可能性がございますこと、こちらも予めご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。
 - ・「ジャーナルコンサルティング」ご参加にあたりましては、本活動に中心のご従事いただきますジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）に一定の時間やエフォートを割いていただく必要があり、また、それをサポートする編集事務局等の体制も重要となって参ります。そのような体制等についてもご勘案のうえ、ご参加を検討いただければ幸いです。

○和文誌

■参加対象

- J-STAGE で定期的に刊行されている和文ジャーナル
 - 会議論文・要旨集、研究報告・技術報告、解説誌・一般情報誌、その他を除く
 - アーカイブ誌（誌名変更や廃刊等で刊行を中止している資料）を除く
 - J-STAGE 以外のプラットフォームを DOI のランディング先としている資料を除く
- 既に OA を実現している、もしくは、OA への移行を希望していること（購読誌の運営に関するコンサルティングは実施しない）
- 和文誌については 2020 年度と同じ実施内容のため、2020 年度の参加誌は対象外とさせていただきます
- 1 発行機関につき 1 誌のみの応募とさせていただきます

■実施概要

1. 実施期間（予定）：2021 年 5 月～2022 年 3 月
2. 実施内容：DOAJ 掲載要件を満たすジャーナル運営体制の実現を目標に、ジャーナル診断および投稿規程を中心とした基盤改善のノウハウを提供する。要望に応じて、JST にて DOAJ への申請代行を実施する。
3. 実施機関：JST
4. 支援方法：主にメールによるヒアリング・情報提供。Web ミーティング・電話によるコミュニケーションも可
5. 言語：日本語
6. JST への報告（実施成果の公表のため、機関名、資料名を匿名化および要約した形で一般公開させていただく場合があります）
 - ：定期的な進捗報告
 - 中間報告書・最終報告書の提出
 - コンサルティング参加後の改善効果に関する報告（参加後 5 年、年 1 回を想定）
7. 応募：参加を希望される場合はこちらよりお申し込みください。
<https://form.jst.go.jp/enquetes/j-stage70>
8. 応募締切：2021 年 5 月 6 日（木）
9. 注意事項：
 - ・参加希望ジャーナル多数の場合は、ご参加いただけない可能性がございますこと、予めご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。
 - ・「ジャーナルコンサルティング」ご参加にあたりましては、本活動に中心にご従事いただきますジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）に一定の時間やエフォートを割いていただく必要があり、またそれをサポートする編集事務局等の体制も重要となって参ります。そのような体制等についてもご勘案のうえ、ご参加を検討いただければ幸いです。